

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地場産品振興対策事業		担当部署	経済建設部 商工政策課	
総合計画体系			根拠法令計画など	伝統的工芸品産業の振興に関する法律及び同法律施行規則	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 17年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化			
基本事業	1	地場産業の育成・振興			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 国の伝統的工芸品に指定された大谷焼。 その他本市が誇る製塩業・製菓業・足袋製造業・アパレル業・粘土瓦製造業・酒醸造業、加工品製造業(わかめ加工)等の地場産品																					
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	大谷焼をはじめとする本市の地場産品の販路を拡大し、各事業所の知名度や売り上げの向上、それに伴う雇用の創出を図る。																					
事業計画	27年度に何を計画していたか	・県人会、物産展等のイベントに出展または開催をし、地場産品のPRを行う。 ・鳴門ブランドわかめの不適正表示問題に取り組むため引き続き同位体検査を実施する。 ・大谷焼普及拡大支援事業を引き続き実施する。																					
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・地場産品PRイベントへの出展回数(2件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大谷焼購入費助成制度利用件数(20・10件) (平成28年度以降は、同位体検査数 20件)</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	・地場産品PRイベントへの出展回数(2件)							・大谷焼購入費助成制度利用件数(20・10件) (平成28年度以降は、同位体検査数 20件)	20	20	20	20	20	件
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位																	
・地場産品PRイベントへの出展回数(2件)																							
・大谷焼購入費助成制度利用件数(20・10件) (平成28年度以降は、同位体検査数 20件)	20	20	20	20	20	件																	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・「大谷焼の里スプリングフェスタ」、「大谷焼窯まつり」市内PR事業の開催を支援。 ・大谷焼普及拡大支援事業(市内外において飲食業や宿泊業を営む者で、提供される料理に使用する大谷焼の器等の購入費に対して一部助成)実施及び検証。 ・市内外で開催される地場産品PRイベントに出展。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 地場産品PRイベントの出展回数	6	8	10	10	10	件
	2 大谷焼購入費助成制度利用件数	15	10	10	10	10	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	・地場産品PRイベントへの出展回数(2件) ・大谷焼購入費助成制度利用件数(20・10件) (平成28年度以降は、同位体検査数 20件)	21	18	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		90.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	1,752	1,752
		全体予算額		800	0	0	880	1,952	3,632
		決算額		729	0	0	880	1,835	3,444
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.4	0.0	2,744		6,188			

【事務事業名：地場産品振興対策事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	3,126	3,444	3,046	3,046	3,046
	うち一般財源	3,126	1,835	3,046	3,046	3,046
	人件費	2,751	2,744	2,744	2,744	2,744
	総事業費	5,877	6,188	5,790	5,790	5,790

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		東京、大阪など大消費地でのPR事業を実施することができ、大谷焼の購入助成先に関しても、市外の飲食店等の利用も多く、有効。
	効率性	B:概ね効率的だった		大谷焼陶業協会、鳴門市うずしお観光協会等と連携することにより、効率よく事業を実施できた。
②成果に対する評価	指標名	・地場産品PRイベントへの出展回数(2件) ・大谷焼購入費助成制度利用件数(20・10件) (平成28年度以降は、同位体検査数 20件)		当初の目標数値の達成にはわずかに及ばなかったものの、概ね満足のいく成果は得られた。
	目標	20	件	
	実績	18	件	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		地場産品及び大谷焼の振興について、一定の成果につながったものと考えられるが、今後のPR事業の手法については検討が必要。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地場産品PR事業としての物産展出展においては、販売により一時的な効果は得られるものの、新たに関係が生まれるかどうかなど不透明な部分が多い。直接中小企業者が出展し、バイヤー等へPRできる機会の創出、販路開拓活動を支援する制度を実施していく予定であるが、手法について検討が必要。 また大谷焼購入費助成については、市外の飲食店を中心に一定のPR効果があったものと認められるが、平成27年度末に終了したことを受け、今後は鳴門わかめ産地偽装問題への対応のため、検体調査の強化、保護活動に重点的に取り組むべく切り替えを行っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	・中小企業者との連携による地場産品PR事業の実施。 ・販路拡大における補助制度の実施。 ・鳴門わかめブランドの育成(認証制度取得に向けた協力、検体の購入及び科学的産地分析実施)			
	平成29年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			